

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに
重点的取組 2 公共交通機関を使いやすくする

担当課名	建設部 施設整備課
予算科目	会計 01 一般会計 款 07 土木費 項 02 道路橋りょう費 目 02 道路橋りょう新設改良費

事業名	道路整備事業	事業開始年度	平成 20 年度
	交通バリアフリー化の推進（ＪＲ大野浦駅周辺整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	道路法 高齢者、障がい者等の移動等 の円滑化の促進に関する法律

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	大野浦駅周辺地区の市民 駅利用者 など	ＪＲ大野浦駅を使いやすくするために、駅周辺道路や自由通路を整備し、駅へのアクセス性、利便性の向上を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	ＪＲ西日本旅客鉄道株式会社 地域コミュニティ	・事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明 ・用地取得，工事発注，現場管理，地元調整 ・施設整備完了後の施設管理

3 平成 25 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

○ J R 大野浦駅周辺道路等（駅前広場等）の整備

交通結節点の機能強化、駅利用者の利便性の向上を図るため大野浦駅北口の駅前広場を整備する。広場面積は約1,200㎡、広場へはバス、タクシー、障がい者用停車スペース、一般送迎用スペース、公衆トイレスペースなどを確保する。また、駅前広場の整備に伴い支障となる J R 大野浦駅の駅舎を橋上化する。さらに、駅北口広場へのアクセス道路をあわせて整備する。
暫定整備している駅南口広場については、自由通路の整備にあわせて整備完了する。
平成 2 5 年度は、J R 用地取得に伴う用地測量を行う。

○自由通路の整備

駅の南北に分断された地区の連絡強化を図るため自由通路を整備する。
延長は約 4 2 m、幅員は 3 m、あわせてエレベーター 2 機を設置する。
平成 2 5 年度は、J R との実施に向けた協議調整を進め、基本協定の締結を目指す。

○事業費関連

【歳入】

社会資本整備総合交付金(道路)3,850 千円公共施設等整備基金1,000 千円

道路整備事業債(合併特例債)3,500 千円

【歳出】

不動産鑑定評価料600 千円

測量業務委託料7,000 千円

関係機関協議資料作成業務委託料1,000 千円

コスト情報（円）

項 目		平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算	備 考
財源内訳	直接事業費 A	18,001,500	21,000,000	8,600,000	
	国庫支出金	9,515,000	11,000,000	3,850,000	
	県支出金				
	借入金（市債）	7,600,000	8,500,000	3,500,000	
	その他(使用料など)			1,000,000	
	市（市税など）	886,500	1,500,000	250,000	
人件費（按分）B		0.69 人 6,105,810	0.77 人 6,819,890	0.77 人 6,739,040	
総事業費（A+B）		24,107,310	27,819,890	15,339,040	
ト換算 単位 コス	①人口（4月1日現在）	118,353 人	118,353 人	118,000 人	
	市民1人当たり	204	235	130	
	②				

到達目標

活 動 及 び 成 果 指 標		単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
活動 成 果	測量・調査・設計の進捗率	%	37	40	53	100	
	基本協定の締結		—	—	協定締結	—	